

## 医学研究センター

## 安全管理部門

三谷 幸之介  
(部門長)

## 1. 部門構成

部門長 三谷幸之介：医学部 ゲノム応用医学 (教授)

感染分野

副部門長 村上 孝：医学部 微生物学 (教授)

部門員 前田卓哉：臨床検査医学 (教授)

森 隆：総医セ 研究部 (教授)

光武耕太郎：国医セ 感染症・感染制御科 (教授)

佐藤正夫：保医学部 臨床検査学科 (教授)

河村 亨：臨床検査医学 (中央検査部) (課長補佐)

池田和博：医学部 ゲノム応用医学 (准教授)

堀内 大：医学部 微生物学 (講師)

薬物・廃液等環境分野

副部門長 奥田晶彦：医学部 ゲノム基礎医学 (教授)

部門員 森 隆：総医セ 研究部 (教授)

安達淳一：国医セ 脳神経外科 (准教授)

野寺 誠：保医学部 健医科学科 (准教授)

淡路健雄：医学部 薬理学 (准教授)

西本正純：中央研究施設 RI 部門 (准教授)

齋藤健一：総医セ 薬剤部 (課長)

藤原智徳：保医学部 健医科学科 (教授)

村松俊裕：国医セ 心臓内科 (教授)

DNA 分野

部門長 三谷幸之介：医学部 ゲノム応用医学 (教授)

副部門長 千本松孝明：RA センター (教授)

村上 孝：医学部 微生物学 (教授)

部門員 中野貴成：医学部 生化学 (講師)

森 隆：総医セ 研究部 (教授)

海老原康博：国医セ 臨床検査医学 (教授)

横尾友隆：中央研究施設 実験動物部門 日高ランチ (准教授)

脇田政嘉：保医学部 臨床工学科 (講師)

菅原哲雄：RA センター 知財担当 (講師)

荒木靖人：リウマチ膠原病科 (准教授)

百瀬修二：総医セ 病理部 (准教授)

**動物分野**

副部門長 森 隆：総医セ 研究部（教授）  
 西川 亮：国医セ 脳神経外科（教授）  
 小野川 傑：保医学部 臨床検査学科（教授）  
 横尾 友隆：中央研究施設 実験動物部門 日高ブランチャ（准教授）

**RI 分野**

副部門長 西本 正純：中央研究施設 RI 部門（准教授）  
 西川 亮：国医セ 脳脊髄腫瘍科（教授）  
 熊倉 嘉貴：総医セ 画像診断科・核医学科（教授）  
 茅野 秀一：保医学部 臨床検査学科（教授）

**2. 今年度の活動****感染分野**

令和3年度は、病原体等取扱申請書19件（新規申請2件、継続申請17件）、病原体等移動（受入）申請書5件、指定実験室使用申請2件（うち修正1件）が提出された。これらの申請に関して、病原性微生物等管理委員会で審議、修正された後、すべて承認された。COVID-19患者末梢血の研究利用について確認した。また教育訓練についてAPRIN eラーニング関連項目を吟味し受講等の利用について検討した。

**薬物・廃液等環境分野**

令和3年度より、薬物分野と廃液等環境分野が合体して、薬物・廃液等環境分野となった。当該年度における薬物についての活動としては、例年通り、本学における麻薬・向精神薬を用いた研究の状況について調査を行った。加えて、国際医療センター・臨床部門から、新規に、麻薬を用いた研究の実施についての希望があったので、国際医療センター総務課と連携し、当該研究者の「麻薬研究者免許証」の取得および研究実施場所であるゲノム棟の整備に協力した。廃液等については、当該年度においても、各キャンパスにおける担当事務職員と随時連絡をとり、問題が起こっていないことを確認した。

**DNA 分野**

令和3年度の遺伝子組換え生物等の使用等における審査申請状況は次の通りである。第二種拡散防止措置申請書（承認39件）、内容変更（承認31件）、譲渡届（承認1件）教育訓練受講証明書発行（30件）を実施した。また、大学院博士課程共通科目「実用実験医学特別講義」を6月に実施した。

文部科学省からの「研究段階におけるゲノム編集技術の利用により得られた生物の使用等に係る留意事項（文科省研究振興局ライフサイエンス課事務連絡 令和3年10月22日）」について周知徹底するため、①教職員を対象に一斉メール配信、②医学研究センターホームページ「お知らせ」及びSMSの「トピックス」へ掲載した。また、適正な管理運営のために「第二種使用等拡散防止措置承認申請書」の様式を変更した。

今後も、審査基準のポイントを明確にすることで、委員会として審査基準のさらなる統一について継続して検討する。

**動物分野**

学内にて実施される動物実験は、埼玉医科大学の動物実験委員会により審査・承認が行われている。令和3年度、動物実験計画書242件〔注意を要する動物実験計画書：組換えDNA実験（P1A実験：85件、P2A実験：8件）、感染実験（ABSL1実験：4件、ABSL2実験：9件、毒物使用実験：5件、RI使用実験：11件）〕、動物実験中間報告書・自己点検票209件、動物実験結果報告書・自己点検票33件、動物実験計画（変更・追加）承認申請書45件、動物実験（終了・中止）報告書33件、実験室設置承認申請書27件について承認した。随時メール審査も開催し、動物実験計画書、動物実験計画（変更・追加）承認申請書、実験室設置承認申請書を承認した。様式8動物実験の自己点検票と様式9飼養保管状況の点検票により、令和3年度の動物実験そして飼養保管状況の自己点検を行った。さらに、動物実験等に関する情報公開の一環として、以下の1-6の内容を外部閲覧可能なホームページ（<http://www.saitama-med.ac.jp/medlinks/animal/index.html>）に行った。

1. 期間内規程・規則（埼玉医科大学動物実験規程、埼玉医科大学動物実験委員会規則）
2. 自己点検評価の結果
3. 外部検証の結果
4. 飼養及び保管の状況（動物種及び動物数施設の情報）
5. その他（動物実験計画書等の審査の状況と特に注意を要する動物実験の実施状況、教育訓練の実績、動物実験委員会、動

物実験委員会審査手順書)

6. 動物実験計画書関連書式（様式 1 動物実験計画書，様式 2 動物実験計画（変更・追加）承認申請書，様式 3 動物実験（終了・中止）報告書，様式 4 動物実験（中間・結果）報告書，様式 5 飼養保管施設設置承認申請書，様式 6 実験室設置承認申請書，様式 7 施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届，様式 8 動物実験の自己点検票，様式 9 飼養保管状況の点検票）

## RI 分野

令和 3 年度より，RI 部門の管理は西本正純と日詰光治の 2 名により行われる旨，原子力規制委員会に届出した。法的安全性の確保から，施設の老朽化に伴う設備修理に，法人からの予算措置を得たうえで着手しているが，修理が必要な箇所が施設全体に及んでおり，現在も作業は継続中となっている。令和 3 年度の人に対する被曝管理・施設設備の安全点検を含めた法的に義務付けられている監督官庁への報告は無事終了した。令和 3 年度末における利用登録者数は，21 名となっている。施設の有効利用を促進するため，令和 3 年 3 月に講習会を開催した。

中央研究施設日高ランチ RI 部門の廃止に係る法的手続・実務的な作業が，令和 3 年 11 月をもって完全に終了した。